

3日目 7月15日

会 場: 県立浜山球場

第2試合	～2回戦～ (7回コールド)																	
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
出雲農林	0	0	0	3	0	0	0									3	7	1
三刀屋	5	0	1	0	1	2	1x									10	13	0
(投手-捕手)																		
・ (出)	飯塚 - 吉川																	
・ (三)	吉田→飯塚 - 藤原																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (出)	吉川																	
・ (三)	飯塚、内田、榎野2、鈴木、本池、渡部												本池					
(審判) [球審] 上手	[一塁] 下谷				[二塁] 三浦				[三塁] 飯塚									
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(出)	29	7	3	1	0	0	3	2	2	0	5	0		1	1	0	0	0
(三)	38	13	10	7	0	1	3	5	4	0	8	0		0	1	0	0	0

「三刀屋、強力打線で10得点」

大会3日目浜山会場の第2試合は中部地区の高校どうしの対戦となった。試合は三刀屋の終始優勢な展開で試合が進んだ。1回裏、三刀屋は相手投手の立ち上がりを攻める。1番本池が内角の直球を捉え先頭打者本塁打で先制すると、四死球と安打で無死満塁とし5番飯塚の左中間を破る適時2塁打で3点を追加する。続く6番鈴木にも適時2塁打が飛び出し、この回一挙5得点で優位に立った。更に、3回裏には、安打と犠打で2死2塁とし、8番藤原にセンターへの適時打で追加点を挙げた。

一方の出雲農林も4回表、死球と暴投、安打で無死1・3塁とし、5番昌子がスクイズを決め1点を返す。その後2死1・3塁とし8番勝部和の適時打で1点を返すと、三刀屋は先発の吉田から2番手の飯塚に継投する。2死満塁とし、1番斎藤の一安の間に更に1点を挙げ、この回3点を返す。

しかし、再び三刀屋が攻勢をかけ、5回裏には8番藤原のスクイズ、6回裏には3番榎野の適時2塁打と6番鈴木 of 適時打でリードを6点に広げる。最後は7回裏2死から1番本池が2塁打を放ち出塁すると、2番渡部が右中間を破る適時打2塁打を放ち7点差をつけ7回コールドで3回戦に駒を進めた。三刀屋は計8長打と長打力を遺憾なく発揮した。

